

ECETOC TRA v3.2 の変更点

2024 年 3 月

1. 概要

2023 年 10 月にリリースされた TRA ツールの新しいバージョン 3.2 では、前のバージョン 3.1 と比較して、REACH の文脈における暴露評価の方法に関連して TRA-Worker モジュールにいくつかの変更が加えられました。これらの変更は、作業環境における化学物質の暴露リスク評価の精度を向上させることを目的としています。

TRA-Worker モジュールの変更点は以下の通りです。

PROC	変更内容
PROC 7	吸入ばく露の局所排気換気 (LEV) 効率が 95% から 90% に変更
PROC 8b (工業)	局所排気換気 (LEV) 効率が 90% から 80% に変更
PROC 10 (工業)	中揮発性液体の基本推定値 (蒸気) が、50ppm から 100ppm に増加
PROC 10 (プロフェッショナル)	中揮発性液体の基本推定値 (蒸気) が、100ppm から 200ppm に増加
PROC 8a (工業)	経皮ばく露の基本推定値 (液体及び固体) が、13.71 mg/kg/日 から 27.43mg/kg/日に増加
PROC 8a (プロフェッショナル)	経皮ばく露の基本推定値 (液体及び固体) が、13.71 mg/kg/日 から 27.43mg/kg/日に増加

2. 再評価の必要性

上記の変更に該当する PROC を用いている場合は、必要に応じて再評価を行ってください。

3. リスク評価支援ツールについて

TRA ツールの内部パラメーターのみの変更であるため、BIGDr.Worker および GSSMaker は、引き続きそのまま使用可能です。